

水素エネルギーで発展するまちの未来

問 脱炭素社会推進室 ☎ 32-2051

燃焼しても二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーとして注目されている「水素」を活用した「脱炭素のまちづくり」をテーマに、シンポジウムを開催します。

水素エネルギーによって発展するまちの未来について考えます。

とき 11月24日(金)午後6時15分～8時(午後5時30分開場)

ところ 津山市総合福祉会館

内容 ●講演 = ①地域脱炭素と地方創生の同時実現に向けて
②水素基本戦略について

●パネルディスカッション = 脱炭素と水素の利活用による津山市の未来の展望

定員 250人(当日先着順)

「地域脱炭素」は、住民・事業者・行政など地域の関係者が主役となり、今ある技術と再生可能エネルギーなどの地域資源を最大限活用することで、経済を循環させ、防災や暮らしの質の向上など、地域の課題を解決する、地域の成長戦略です。



津山市は、岡山連携中枢都市圏を構成する県内13市町と一緒に「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言」を行い、さまざまな取り組みを進めています。

さん・さん祭り2023 - 未来へ！輝くわたしたち

問 津山男女共同参画センター「さん・さん」(アルネ・津山5階) ☎ 31-2533、津山ファミリー・サポート・センター(さん・さん内) ☎ 31-8753、☎ 31-2534

すべての人が性別にとらわれることなく、いきいきと暮らせる社会を目指して

とき 12月2日(土)・3日(日)午前10時～午後5時(3日は午後3時まで)

ところ 市立図書館前ホール・市立文化展示ホール(アルネ・津山4階)、さん・さん

内容 男女共同参画がテーマの学習会、煎茶体験などの体験コーナー、さん・さん利用団体による作品の発表など

ファミ・サポクリスマス交流会(参加費:1人150円)

とき 12月2日(土)午後1時30分～3時30分

ところ ベルフォーレ津山(さん・さん集合)

内容 市出身のピアニスト 福田ひかりさんのピアノ演奏、サンタクロースからのプレゼントなど

申込方法 11月26日(日)までに、ファミ・サポに電話、ファクスまたは窓口で申し込む(先着順)



地域の歴史や文化を勉強して発表する「つやま子ども観光ガイド育成塾」の今年のテーマは「津山の牛肉食文化のひみつ」です。8月20日、津山郷土博物館(山下)で、津山と牛の歴史や、つやま和牛について勉強しました。

問 つやま和牛 = 農業振興課 ☎ 32-2079、育成塾 = 学校教育課 ☎ 32-2114

つやま和牛の魅力

つやま和牛 すき焼き用を抽選で2人にプレゼント!
応募期間 11月1日(水)～30日(木)

(株)曲辰提供(当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます)

応募方法はチャットボットに聞いてね↓



↑畜産農家の井原みかさん・亨さん(下田邑)が、つやま和牛を育てる喜びや苦労などを話しました

子どもたちは、つやま和牛の餌になる津山産小麦のふすま(表皮)の香りを実際に確かめました↓



第18回津山づくりミーティング～楽しく集う「農」で介護予防

問 秘書広報室 ☎ 32-2029

農業を活用した介護予防事業「俺の野菜づくり講座」に参加する4人が、東一宮の畑近くで、8月24日に市長と意見交換しました。

広がる活動の輪

参加者 土づくり、野菜の育成、収穫だけでなく、簡単な調理方法を教わるのも楽しみの一つ。

一人ですると大変な作業でも、みんなと話しながらできるので、毎回楽しみにしている。

7月には、活動の中でつながった放課後児童クラブの子どもたちと、野菜を収穫し、簡単な料理を作って一緒に食べた。

収穫した野菜を子ども食堂にも届けている。農産物を育てたり、食べたりする「農」を通じて、活動が広がっている。



市長 「楽しい」「集う」「つながる」が活動の大切なキーワード。

自分たちが引っ張る存在に

参加者 講座に参加して、食べたことがなかった野菜を食べるようになるなど、みんなで活動する楽しさを知っただけでなく、食生活にも変化があった。このような体験をしてほしい。

外出する機会や交流の場が大切。外出できない人が、外に出ていく仕組みづくりが必要。

わたしたち講座の参加者が、積極的に他の高齢者を引っ張っていく存在になりたい。

市長 仲間づくりの場、移動手段の確保など、介護予防や社会参加が進む環境づくりに取り組みたい。



↓詳しくはこちら



左から 三谷元さん(大谷)、田口慎一郎さん(下横野)、谷口市長、和泉健次郎さん(東一宮)、田口幹啓さん(沼)

目標は Well-Being 心ゆたかな暮らし

問 〒708-8501 津山市山北 520 デジタル推進室(市役所3階) ☎ 32-2119

皆さんが将来にわたって「住み続けたい」と感じられる便利で快適なまちを目指して、スマートシティ構想を実現する取り組みを進めています。

ワークショップを開催します

住民の幸福感や暮らしやすさを計る指標から、市の現状と課題を知り、これから必要な取り組みや課題の解決方法をみんなで考えます。

皆さんのアイデアは、今後のまちづくりや住民サービスなどに生かしていきます。

とき 12月3日(日)午後1時30分～5時30分

ところ 津山市地域交流センター(アルネ・津山4階)

申込方法 デジタル推進室に備え付けの申込書(市ホームページから印刷可)に記入し、郵送または窓口へ提出するか、市ホームページの申込専用フォームから申し込む

締め切り 11月27日(月)



皆さんの気持ち 暮らしの満足度や幸福感



制度はあるのに、みんなの満足度が低いのはなぜ?



Well-Being 心ゆたかな暮らし



デジタル技術など

スマートフォンの操作が苦手な人には、どんな方法がいい?

何がどう変わると、暮らしやすくなる?